

# My Number

主催：東京大学大学院情報理工学系研究科 R2P (Research on Research Program on IST)

共催：東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム

後援：経済産業省

日時：2015年3月16日(月) 13:30-17:30 (開場13:00)

場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館 4階241講義室

定員：200名 (参加費無料, 事前登録制)

[http://www.gcl.i.u-tokyo.ac.jp/events/2015316\\_r2p\\_ist\\_gcl\\_sympo/](http://www.gcl.i.u-tokyo.ac.jp/events/2015316_r2p_ist_gcl_sympo/)

社会基盤としての社会保障・税番号制度(マイナンバー)と準備が進められている。ビッグデータ時代を迎え、パーソナルデータを含め、対象データは多様な領域に広がっている。マイナンバーは、行政等の法律で定められた業務の中で個人を特定し、安全に行政の情報連携を実現するものである。本シンポジウムでは、ビッグデータ時代のパーソナルデータ利活用に向け、マイナンバー制度について考える。

司会：浅見 徹 (情報理工学系研究科長補佐 (産学連携担当) ・教授)

## 【第1部】

**13:30-13:50 開会の挨拶・本シンポジウムの課題説明**

國吉 康夫 (情報理工学系研究科・教授/GCLプログラムコーディネーター)

**13:50-14:20 基調講演1「マイナンバー制度の民間利活用」**

満塩 尚史 (経済産業省商務情報政策局 情報政策課 情報プロジェクト室CIO補佐官)

**14:20-14:50 基調講演2**

**「マイナンバーの民間利活用における法的課題」**

大谷 和子 (日本総研 法務部長)

**14:50-15:00 全体Q&A**

## 【第2部】

**15:10-15:50 特別講演「ビッグデータとマイナンバー制度」**

喜連川 優 (東京大学 生産技術研究所 教授/国立情報学研究所所長)

**15:50-17:25 パネルディスカッション**

**「ビッグデータ時代の個人情報利活用」**

モデレーター：萩谷 昌己 (情報理工学系研究科・ソーシャルICT研究センター長・教授)

パネリスト：大谷 和子 (日本総研 法務部長)

喜連川 優 (東京大学 生産技術研究所 教授/国立情報学研究所所長)

満塩 尚史 (経済産業省)

**17:25-17:30 閉会の辞**

# BIG DATA